

記念冊子

“受動喫煙”を語る県民の夕べ

～スモークフリー社会を目指して～



子どもをタバコから守る会名誉顧問 松沢成文氏 ふたたび熱く語る！



平成 23 年 9 月 18 日（日） at プレスタワー 17F

主催：子どもをタバコから守る会

共催：株式会社杏林堂薬局

ノバルティス・ファーマ株式会社

後援：静岡県 浜松市



松沢氏、 浜松でふたたび 熱く語る!

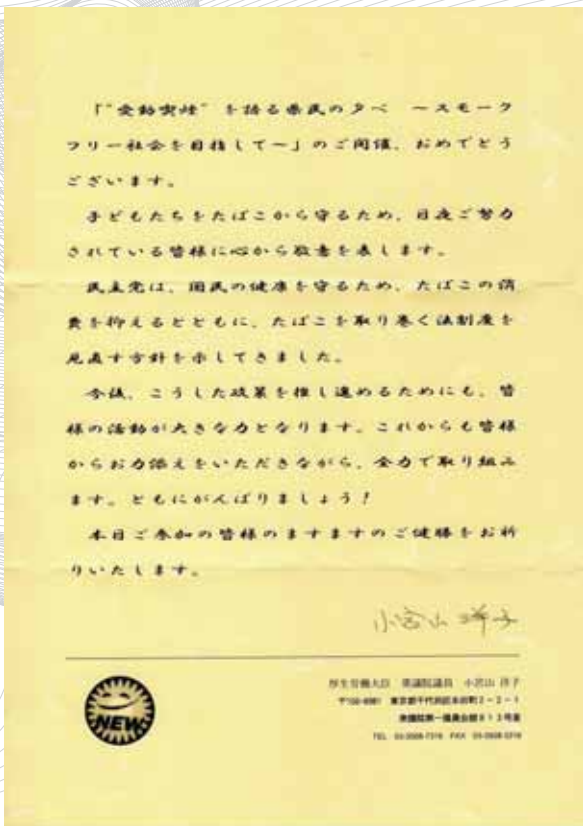
はじめに

2010年10月9日に松沢前神奈川県知事は、雄踏文化センターで「受動喫煙防止サミットin浜松」で基調講演をされました。その余波を至る所で実感します。そして2期8年の人気を終え4月22日に退任後、市内事務所に移動しました。むしろ知事次代よりも講演依頼が増えているといえます。

筑波大学・明治大学・聖マリアンナ医科大学など計4力所の非常勤講師を兼任し、「財」スモークフリージャパンを立ち上げ、吉本興業にも活動展開しています。

その多忙な松沢氏に再度当地での講演をお願いするべく出向いたのが今年の7月28日の事でした。彼は手帳を見ながら「解りました。お伺いしますよ」と快諾されました。幸運にも我々は一年で2回の講演を聴くチャンスに恵まれたのです。

厚生労働大臣 小宮山洋子氏より激励の手紙



開催までの慌ただしい日程

企画名は「受動喫煙を語る県民のタバ。」。静岡県&浜松市の後援を得て、3年前から市民公開講座を開催している杏林堂薬局の支援を仰ぎ、会場は静岡新聞/静岡放送プレスタワー17Fに決定。昨年同様今回も静岡市~豊橋市まで広報しましたが、「松沢氏の講演がまたあるのですか？」とコメントがあちらこちらから聴かれました。つまり前回の企画「受動喫煙防止サミット」が、いわゆる事実伝達（ニュース）でなく、叙情的なメッセージだったのです。



受動喫煙を語る 県民の夕べ

プレスタワー17Fに集まったのは100名ですが、一人ひとりが喫煙問題について高い見識の持ち主でした。

林望名誉顧問の冒頭挨拶に加え、今回は厚生労働大臣小宮山洋子氏、城内みのる衆議、榛葉かつや参議、湖西市長三上元氏からのメッセージを頂戴しました。昨年はオーケストラを聴くような印象でしたが、今回は間近な壇上に松沢氏の姿があります。進む熱気が伝わってきます。タバコと健康の問題は、生活習慣の中にあるので、誰もが意見を持っているので、政治テーマにするには困難でした。しかし国際水準を目指す視点で、2期目のマニフェストに掲げたそうです。日本は、WHO主導のたばこ規制枠組み条約を締約しているの、対策を行わないと世界から信用されなくなります。目的は受動喫煙の健康被害から人々を守る事であり喫煙を禁止する事とは違う、などを切々と伝え続けました。当初パチンコ業界や居酒屋業界は反対でしたが、年月を費やすことで理解は得られるようになりました。JT、フィリップモリスなどの会社とも折衝して神奈川県立の立場を示すことができました。

当初は反対していた大勢の県議も、「民意には逆らえない」事を痛感し始めました。松沢氏のスタンスを理解するようになり、今では海水浴場にも喫煙対策が徹底しています。



質疑応答

かなりの参加者とのやり取りが繰り広げられました。

今回の会場では演者と聴衆の距離が短く、Face to Faceの関係になりました。これは彼が条例制定前に神奈川県内で繰り返したタウンミーティングそのものであり、問い掛けひとつひとつに真摯に答える彼のスタンスは揺るぎないものでした。

後で「素晴らしい政治家だ。これほどの情熱をもった為政者は見たことも聞いたこともない」の声があちらこちらから聞かれました。

Q&A



千葉から駆けつけた勝見さん



地元浜松の安田さん



秋田から参加の鈴木さん



静岡市から参加の鈴木さん

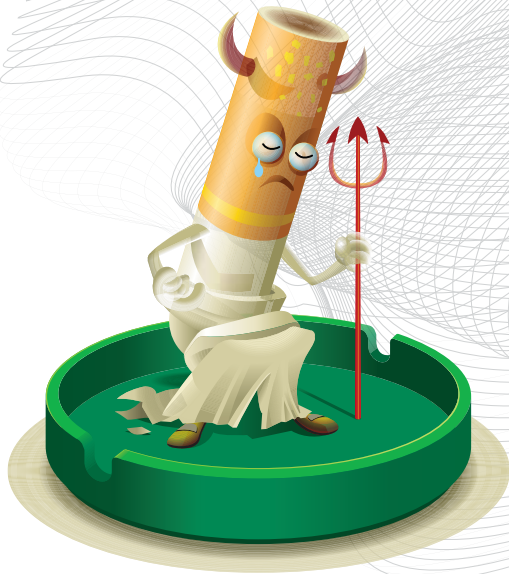


全国からの禁煙策士

「受動喫煙を語る県民の夕べ」には一般市民の他に議員、行政関係者、医療従事者、企業産業医、教育関係者、スポーツ関係者、タクシー関係、マスコミなど多岐にわたる参加者がありました。

また、鈴木裕之先生（秋田）、勝見行雄先生（千葉）、安田雅和先生（磐田）、鈴木大次郎先生（豊橋）、安田雄司先生（京都）中川秀和先生（愛媛）が参加し、豊橋から来場した国際弁護士も、初めて聞くタバコ問題の深淵さに驚いていました。

昨年の「受動喫煙防止サミット」よりも、確認し合う意味で「受動喫煙を語る県民の夕べ」の満足度は高かったのかも知れません。市民を巻き込んだこのような取り組みが世論形成になります。世界でワースト3と称される我が国のタバコ対策に、曙光がさし始めたのかも知れません。今後、これらの地から松沢氏招聘がなされることでしょうか。神奈川発の受動喫煙防止の勢いが、浜松の地で増幅され、全国に発信できたことは、望外の喜びです。



書籍販売&サイン会 at Hamamatsu Press Tower 17F



販売協力：(株) 谷島屋書店

本場福井県
うな炭亭 「うな炭亭」にて懇親会



浜松駅南の「うな炭亭」2Fで懇親会を行ないました。見ず知らずの46名がタイトな時間で着座するのは大変でしたが、予め座席表を用意していたので混乱はありませんでした。一人ひとり自己紹介をしましたが、目標が同じなので雰囲気は最高でした。



席ごとに角度を変えて、タバコと健康の問題が語られたのも言うまでもありません。和やかな雰囲気の中、46名の自己紹介もすることができました。驚いた事に「うな炭亭」の若女将の大学卒業論文は何と副流煙とのことで、実はその視点で「うな炭亭」も完全禁煙なのです。



僅か70分間という懇親の席も終わり、浜松駅までの5分間、一行は松沢氏とそぞろ歩きました。お疲れのはずの松沢氏は、終始和やかであり、イベントが成功に終わったことが伝わってきました。

「子どもをタバコから守る会」は 現在会員募集中

社会環境が禁煙化されましたが、まだまだ受動喫煙被害は見聞きされます。

今後、教育施設での喫煙防止教育や禁煙飲食店の普及・啓発を含め、活動継続の必要があり皆さんのお力が必要です。

スモークフリー社会実現に向けて、一緒に活動しましょう。



The Association of Protecting Children Against Tobacco (APCAT)

Information



松沢 成文 名誉顧問

社団法人「スモークフリージャパン」
<http://smokefree.or.jp/smokefree/>



林 望 名誉顧問

- 年会費 1,000 円
定例会 第一月曜 19:30~21:30
イベント 世界禁煙デー 駅前パレード／禁煙啓発講演
子どもをタバコから守る会・市民公開フォーラム 他
- 講演会 県内外を問わず幼稚園～社会人まで対応
- 連絡先 代表 加藤 ☎(053) 592-1059
☑ kazuharu@jeans.ocn.ne.jp
副代表 塚本 ☎(053) 485-5476
☑ kat-kay@ka.tnc.ne.jp